

日常点検の実施方法

点検箇所	点検項目	点検の実施方法	
運行中の異常箇所	当該箇所の異常	異常を認めた箇所について点検する。	
運転席での点検	ブレーキ・ペダル	踏みしろ、ブレーキのきき エンジンかけた状態でブレーキ・ペダルをいっぱい踏み込んだとき、床板とのすき間（踏み残りしろ）が適当であるかを点検する。 エンジンかけた状態でブレーキ・ペダルをいっぱい踏み込んだとき、踏みごたえが適当であるかを点検する。	
	駐車ブレーキ・レバー	引きしろ	パーキング・ブレーキ・レバーをいっぱい引いたとき、引きしろが多すぎたり、少なすぎたりしないかを点検する。
		踏みしろ	パーキング・ブレーキ・レバーをいっぱい踏んだとき、踏みしろが多すぎたり、少なすぎたりしないかを点検する。
	原動機（エンジン）	かかり具合	エンジンが速やかに始動し、スムーズに回転するか点検する。
		異音	エンジン始動時及びアイドリング状態で、異音がないかを点検する。
		低速、加速の状態	エンジン暖気させた状態で、アイドリング時の回転がスムーズに続くかを点検する。
			エンジンを除々に加速したとき、アクセル・ペダルに引っ掛かりがないかを点検する。
	ウインド・ウォッシャー	噴射状態	ウインド・ウォッシャー液の噴射の向きが適当かを点検する。
			ウインド・ウォッシャー液の噴射の高さが適当かを点検する。
	ワイパー	拭き取りの状態	ワイパーを作動させ、低速及び高速の各動作が不良でないかを点検する。
			きれいに拭き取れるかを点検する。
	◎空気圧力計	空気圧力の上がり具合	エンジンをかけて、空気圧力の上がり具合は極端に遅くないかを点検する。
空気圧力が空気圧力計の表示に示された範囲にあるかを点検する。			
◎ブレーキ・バルブ	排気音	ブレーキ・ペダルを踏んで放した場合に、ブレーキ・バルブからの排気音が正常であるかを点検する。	

エンジンルームでの点検	ウインド・ウォッシャー・タンク	液量	ウインド・ウォッシャー液の液量が適当かを点検する。
	ブレーキのリザーブ・タンク	液量	リザーブ・タンク内の液量が規定の範囲 (MAX～MINなど) にあるかを点検する。
	バッテリー	液量	バッテリー各槽の液量が規定の範囲 (UPPER～LOWERなど) にあるかを、車両を揺らすなどして点検する。
	ラジエーターなどの冷却装置	水量	リザーブ・タンク内の冷却水の量が規定の範囲 (MAX～MINなど) にあるかを点検する。
	潤滑装置	エンジン・オイルの量	エンジン・オイルの量がオイルレベルゲージにより示された範囲にあるかを点検する。
	ファン・ベルト	張り具合、損傷	ベルトの中央部を手で押し、ベルトが少したわむ程度であるかを点検する。 ベルトに損傷がないかを点検する。
車の周りからの点検	灯火装置、方向指示器	点灯、点滅具合	エンジン・スイッチを入れ、前照灯、制動灯などの灯火装置の点灯具合が不良でないかを点検する。 エンジン・スイッチを入れ、方向指示器の点滅具合が不良でないかを点検する。
		汚れ、損傷	レンズなどに汚れや損傷はないかを点検する。
	タイヤ	空気圧	タイヤの接地部のたわみの状態により、空気圧が不足していないかを点検する。 空気圧不足が分かりにくいものや、長距離走行や高速運転を行う場合には、タイヤゲージを用いて点検する。
		亀裂、損傷	タイヤの全周に著しい亀裂や損傷がないかを点検する。 タイヤの全周にわたり、釘などの異物が刺さったり、かみ込んでいないかを点検する。
		常な磨耗	タイヤの接地面が異常に磨耗していないかを点検する。
		溝の深さ	溝の深さに不足がないかをウェア・インジケーター (スリップ・サイン) などにより点検する。
	ディスク・ホイール	取り付け状況	ホイール・ナットの緩みや脱落、折損または、さび汁が出た痕跡はないか。
	◎エア・タンク	タンク内の凝水	ドレン・コックを開いて、タンクに水がたまっていないかを点検する。
	◎ブレーキ・ペダル	踏みしろ、	ブレーキ・ドラムとライニングのすき間を点検する。
		ブレーキのきき	フル・エアブレーキが装着されている自動車にあっては、規定の範囲にあるかをスケールなどにより点検する。

(注) ◎印の点検箇所は、エア・ブレーキが装着されている自動車に限る。